

令和8年熊本地震 緊急支援募金報告

ご協力ありがとうございました

2026年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」およびその後の関連災害。
パルシステムグループでは被災地域の1日も早い復旧を願い、被災者支援を目的とした募金活動に取り組みました。
ご協力いただいた皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

参加人数

13万3,100人

インターネット注文または、注文用紙から募金をした組合員ののべ人数

募金額

1億6,082万2,026円

募金額には店舗やその他、関連団体からの組織募金等も含まれます（1,397,192円）

※募金は現金とポイントの2種類で、注文用紙とインターネットで受け付けました。

受付期間は、注文用紙は8月3日（月）～9月4日（金）、インターネットは7月31日（金）～9月5日（土）

寄付先の詳細は裏面をご覧ください

支援の取り組みと被災地のいま



柑橘園場（肥後あゆみの会）の崩れた石垣は、石垣を積める人の確保が見通せず、復旧は未定となっている

被災地域にある6カ所の産直産地では、生産者の自宅や農地・圃場にさまざまな被害が発生しています。現在のところ、出荷に大きな影響は発生していませんが、復旧には時間が掛かるものもあります。

昼やしめ飾りに使われているい草は、そのほとんどが熊本県八代市産です。発災時、停電や断水などインフラが不通になってしまい、被害状況の把握に時間が掛かりましたが、復旧に向けて少しずつですが歩みを進めています。

組合員の皆さまからの早期復旧を願うお気持ちを見舞金とともにお届けいたします。引き続きのご協力をお願いいたします。

7月28日（火）の発災後、パルシステムグループでは7月31日（金）に飲料水や粉ミルクの支援、8月5日（水）から現地入りした職員による状況確認に動き出しました。

現在のところ、前回の熊本地震（2016年）や能登半島地震（2024年）に比べれば大きな混乱はなく、行政の対応や支援活動団体との連携も円滑に行われている印象ですが、支援団体によると、避難所から仮設住宅へ移動する際の家財の運搬、不用品の撤去、コミュニティの運営支援などの支援活動は3年程度必要なのではないかという見通しです。

人的支援では、日本生活協同組合連合会を通じた要請を受け、9月半ばに職員1名を派遣。全国各地から集まった他生協職員と協働で災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

災害ボランティアセンターの運営支援を行いました

熊本県生協連のもとに設置された「コープ被災地支援センター」のもと、宇城市・宇土市の災害ボランティアセンターで運営支援業務を行いました。



全国各地の生協職員と協働しました



ボランティア受付会場の設営をしました



市内の各家庭から搬入される災害ごみの仮置き場（宇城市）

組合員から集まったお気持ちは 下記にお届けします

1 被災した産地やメーカーへのお見舞金 10,000,000円

被災該当地域の16産地・12メーカー計28団体に状況確認を行い、下記10団体に対しお見舞金を贈ります。

【贈呈先】

肥後あゆみの会（宇城市）、熊本大同青果（熊本市）、フレッシュダイレクト（熊本市）、マルタ（熊本市）、肥後やまと（宇城市）、くまもと有機の会（JOAC）（御船町）、ニッコー 八代工場（八代市）、ピエトラ（氷川町）、インストール 原料産地（八代市）、パルクスフーズ熊本（熊本市）

2 被害の大きかった各自治体への義援金 8,000,000円

被害の大きかった自治体3市1町（氷川町、宇城市、宇土市、八代市）への義援金として贈呈します。

義援金は、被災した自治体が設置した義援金配分委員会によって、すべて公平・平等に被災者に配分されます。

3 日本生協連「『令和8年熊本地震』 災害支援募金」 62,635,220円

被災した方への義援金としてお渡しします。一部は被災地支援活動の支援金としても活用されます。

4 支援・救護活動団体への支援金（緊急支援物資の実費を含む） 80,186,806円

支援活動の長期化が見込まれることから、継続した支援を予定している下記6団体を対象としました。

支援金の使途は支援先団体に任せることになりますが、各団体ごとに使途や収支の報告を行って、透明性を確保します。

※金額には、発災後に提供した緊急物資（水、粉ミルク、食材）の支援実費186,806円を含みます。

（公社）ピースボート災害支援センター

【支援内容】

応急仮設住宅の入居世帯への家電支援と、併設される集会所・談話室への机やエアコンなどの備品提供を通じて、被災者の生活環境整備とコミュニティ形成、孤立防止を支援する。

NPO法人 ピースウィンズ・ジャパン

【支援内容】

救助・医療・避難所運営等の初期支援から移行し、避難所運営の受託や、仮設住宅入居世帯への大型家電の提供を実施。さらに福祉事業所等と連携し、把握しづらい在宅避難者へ物資を届け、要配慮者をつなぐ。

（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【支援内容】

子ども支援に特化し、「こどもひろば」の運営や物資配布を実施。今後は経済的困難世帯への給付金支給、学校等の備品提供や施設修繕による「まなびや育ちの支援」、支援者向けの子どもの心のケア研修を行う。

認定NPO法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

【支援内容】

障がい者や高齢者、外国人等の要支援者へ物資やシャワー等の緊急支援を実施。また、福祉施設の修繕や備品復旧を支援する。さらに、被災地障害者センターと協働し、制度申請への伴走など個別支援を行う。

NPO法人 YNF（よか隊ネット福岡）

【支援内容】

災害ケースマネジメントに基づき、個別訪問や相談対応を通じて生活再建まで伴走支援を行う。また、建築士や弁護士を派遣する「派遣型土業相談支援」により、住宅修繕や法的課題の解決を専門的に支援する。

被災地NGO協働センター

【支援内容】

八代市等に拠点を設け、支援から漏れがちな在宅避難者や要支援者への戸別訪問・見守りを実施。孤立を防ぐ交流サロンの開催、生活物資提供や環境整備のほか、地元団体と連携し被災者の自律的組織をサポートする。



8月3日（月）当会よりYNF(よか隊ネット福岡)にペットボトル水を提供しました



8月3日（月）非常用トイレを児童福祉施設に届けました
画像提供：難民を助ける会（AAR Japan）



生活再建期の課題に対応するため深夜まで活動は続くことも
画像提供：YNF（よか隊ネット福岡）



9月3日（木）パルシステムが寄贈した旧配送車両を改装したキッチンカーも活躍
画像提供：ピースボート災害支援センター

ご協力ありがとうございました。

パルシステム東京 パルシステム神奈川 パルシステム千葉 パルシステム埼玉 パルシステム茨城 栃木
パルシステム山梨 長野 パルシステム群馬 パルシステム福島 パルシステム静岡 パルシステム新潟ときめき